

# セキュリティ会計ガイドライン検討WG

セキュリティ会計ガイドライン検討WGリーダー  
凸版印刷株式会社 佐野 智己

## ■はじめに

今年度より、政策部会内に『セキュリティ会計ガイドライン検討ワーキンググループ』（以下、本WG）を立ち上げ、活動を開始しました。

本WGの名称に使われている「セキュリティ会計」とは、「環境会計」からとった造語です。環境の世界では、既に「環境報告書」という形で企業における環境保全への取り組みを公表する仕組みが定着化しており、またその取り組みに対する意思決定のツールとして「環境会計」が多くの企業で導入されています。企業における情報セキュリティ確保および個人情報保護の取り組みは環境保全活動と似ている点が多いことから、先行する「環境会計」に倣い、「セキュリティ会計」という概念を提唱しました。

ところで、昨今の個人情報漏洩事件を受けて、情報セキュリティの確保や個人情報の適正な取り扱いがまさに“企業における社会的責任（CSR）”として捉えられるようになってきました。そして、CSRレポートの中で情報セキュリティや個人情報保護の取り組みを掲載する日本企業も出て来ました。しかし、その数はまだ少なく、あまり多くは語られていないのが現状です。個人情報保護法の全面施行が来春に迫り、実は身近なところで、社内・社外を問わず、情報セキュリティに対する説明責任が求められるようになって来ています。

本WGの活動が、IT社会の一員として、社会との有効なコミュニケーションの一助になれば幸いです。

## ■活動目的

企業における情報セキュリティ確保に向けた取り組みについて、適正に把握・評価・公表できる仕組みとして「セキュリティ会計」を定義し、その基本的な考え方を取りまとめ、発信していきたいと考えています。

以下にWG発足時に掲げた取り組み項目を挙げます。

- 1) 「セキュリティ会計」の基本設計
- 2) 環境会計などの既存モデルとの共通点・相違点の調査と適用の可否
- 3) 情報セキュリティ確保に係るコストの分類と算定方法の提示
- 4) 物量的／経済的効果の指標
- 5) 情報セキュリティにおける有形・無形資産の価値評価
- 6) モニタリング など

初年度にあたる2004年度は、環境省「環境会計ガイドライン」や情報セキュリティに係る諸規程などを参照しながら、『JNSA版セキュリティ会計ガイドライン（草案）』の策定を目指します。

また、JNSA内の他WGとの連携や関連団体との意見交換なども積極的に行っていく予定です。

## ■活動状況

月1～2回程度、WGを開催しています。

2004年度前半期は、8回、WGを開催しました。また、関連知識の習得のため、外部より講師をお招きし、勉強会を数回開催しました。

非常に“チャレンジングな”テーマではありますが、“JNSAらしい”解が出せたらと思います。

